

19-12-04

線路内支障を想定した総合復旧訓練を実施 ～旅客避難誘導と列車脱線事故復旧の訓練を行います～

名古屋鉄道では、12月11日(水)の13時00分から15時00分まで、築港線 大江駅～東名古屋港駅間において、線路内における列車と支障物との衝突事故発生を想定した、災害事故総合復旧訓練を行います。

この訓練は、安全輸送の完遂に向けた取り組みの一環として、災害発生を想定し、お客さまへの案内および避難誘導や車両・施設の復旧作業を実践的に行うことにより、情報収集方法や復旧作業手順、現場の指揮命令系統などを確認し、災害復旧を行う際の部署間の相互協力体制の確立を図るものです。毎年実施し、今年で15回目となります。

今回は、線路内に倒れ込んできた樹木と、運行中の列車が衝突・脱線したケースを想定し、当訓練で初めてとなる重機を使用した事故車両の収容や損壊した線路・電気施設の復旧、車内旅客の線路上への降車補助のほか、今年度導入した車掌用タブレットを活用した外国人旅客への案内などの訓練を実施します。

当日は、安藤隆司(あんどう・たかし)取締役社長、鈴木清美(すずき・きよみ)取締役専務執行役員・鉄道事業本部長をはじめ、駅や運転現場の係員、土木・車両・電気部門の係員など、総勢約300人が参加します。

詳細は、下記のとおりです。

記

- 1 実施期日 12月11日(水)
- 2 場 所 築港線 大江駅～東名古屋港駅間
(名古屋市港区)
- 3 訓練時間 開始:13時00分 終了:15時00分
- 4 訓練内容
 - (1) 列車防護(緊急停止手配)
 - (2) 通報(列車無線による)
 - (3) 車内案内及び旅客の避難・誘導
 - (4) 外国人のお客さま対応の確認
 - (5) 線路内支障物除去作業
 - (6) 脱線復旧作業
 - (7) 事故車両収容(重機による)
 - (8) 線路・電気施設復旧作業
 - (9) 情報収集と指揮命令系統の確認

※内容は変更となる場合がありますのでご了承ください。



前回(2018年11月)実施の訓練の様子

以上